

印西大師 第74番 岩戸・泉福寺

1 名称 (No.074)〔手引鏡：泉福寺〕〔資料館：泉福寺〕〔行程表：泉福寺〕

2 場所 印西市岩戸1671 泉福寺

岩戸・新堂から道程約180m

GPS座標 35.763966578769555, 140.16877141679777

3 由緒 真言宗豊山派

岩戸村字東郷にあり 真言宗にして千手院未なり 千手観音を本尊とす 宗祖興教大師法孫開基 不詳中興開山法印宥順弘治二年三月創立 檀徒 82人 (印旛郡誌)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。大師堂前面に龍の彫り物がある。

なお、第74番大師堂の右手には丸彫りの修行大師像が1体ある。また番外大師堂にも御大師様が1体あり、さらに興教大師と思われる石像が1体あるので、全部で御大師様は4体あり。

5 境内 大師堂のまわりは薬師堂、番外大師堂、多くの石造物などがある。

6 写真 (2023.10撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



泉福寺薬師堂



泉福寺山門



泉福寺本堂

7 情報

(1) 印西大師 第74番 泉福寺 御詠歌 (泉倉寺本による)

十二神味方に持てる軍(戦)には おのれと心甲山かな

四国八十八ヶ所 第74番 真言宗善通寺派 医王山(いおうざん) 多宝院 甲山寺(こうやまじ) 写し

(2) 泉福寺薬師堂

泉福寺は開基や沿革が明らかではありません。弘治2年(1556年)に焼失してその後再建されたと伝えられています。

正面側面ともに三間の堂で、屋根は茅葺寄棟造です。柱はすべて丸柱で、垂木に古いものが

残っているものの建具は創建当時のものではありません。

内部は後部2間が内陣、前部1間が外陣という構造になっていますが、現存の構造や痕跡からかつて中敷居を入れた建具があったと推定されています。

内陣は、側柱筋から後へ寄せて須弥壇の背後に立つ2本の来迎柱を立てている関係で、来迎壁、須弥壇とも後方に移って内陣の空間が広がっています。

建立年代は建築手法から室町時代末期と考えられ、栄福寺薬師堂、宝珠院観音堂の後に位置付けられます。

昭和56年の解体修理によって、貞享2年（1685年）に現在の地に移築されたことがわかりました。（印西市HPより）

(3) 祝奉 弘法大師御生誕千二百五十年

2023年は弘法大師生誕1250年で、そのお祝いの幟旗を時々見かけます。真言宗のお寺に限られるのでしょうか。



印西大師 番外 岩戸・泉福寺

1 名称 (No.074)〔手引鏡：泉福寺〕〔資料館：泉福寺〕〔行程表：泉福寺〕

2 場所 印西市岩戸1671 泉福寺

岩戸・新堂から道程約180m

GPS座標 35.763966578769555, 140.16877141679777

3 由緒 真言宗豊山派

岩戸村字東郷にあり 真言宗にして千手院末なり 千手観音を本尊とす 宗祖興教大師法孫開基 不詳中興開山法印宥順弘治二年三月創立 檀徒 82人 (印旛郡誌)

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの石像が2体あり、そのうち右の石像は弘法大師である。その

に左に手を合わせた姿の石像が1体あるが、真言宗のお寺なので興教大師であろうか。

5 境内 薬師堂へ行く階段を登って右に手水屋があり、その奥に大師堂がある。

6 写真 (2023.10撮影)



大師堂



興教大師 (左) と御大師様 (右)



御大師様 (右)



大師堂



御大師様 (修行大師像)



最近整理された石造物

7 情報

(1) 興教大師覚鑿 (こうぎょうだいしかくばん) 上人

真言宗中興の祖。新義真言宗の教義を根付かせ、現在の新義真言宗 (根来寺派)、真言宗豊山派 (長谷寺)、智山派 (智積院) の基礎となった。

嘉保2年(1095)現在の佐賀県鹿島市に誕生。13歳の時入京。仁和寺に於いて得度。修学修行を積まれ20歳にして高野山に登嶺。弘法大師を崇敬、大師の歩まれた道を範として刻苦勉励日夜を分かたず精進研鑽、その学徳並ぶものなしと言われた。

高野山を再興し、大師教学を振興した功績は誠に大。根来山に於いて49歳を以って入滅。

東山天皇より興教大師と諡名賜る